

JMS舌圧測定器 (一般的名称: 舌圧測定器)

医療機器承認番号: 22200BZX00758000
(管理医療機器・クラスII)



舌圧プローブ
@¥500

連結チューブ
¥1,500

本体
¥150,000





要介護高齢者における舌圧と口腔機能の関係

中医協 総-3
27.7.22

○ 特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者において、むせのある者、食べこぼしのある者、流涎のある者、低栄養状態のリスクがある者の舌圧は、そうでない者よりも有意に低くなっていた。

舌圧測定



(広島大学歯学部津賀教授提供)

※舌圧測定器で、舌圧を測定している様子。硬質リング部を上下顎前歯で軽くはさむようにして、唇を閉じ、バルーンを舌で口蓋にむけて押しつぶさせる。



(広島大学歯学部津賀教授提供)

※舌圧測定器は、デジタル舌圧計と連結チューブ、舌圧プローブから構成。

連結チューブ

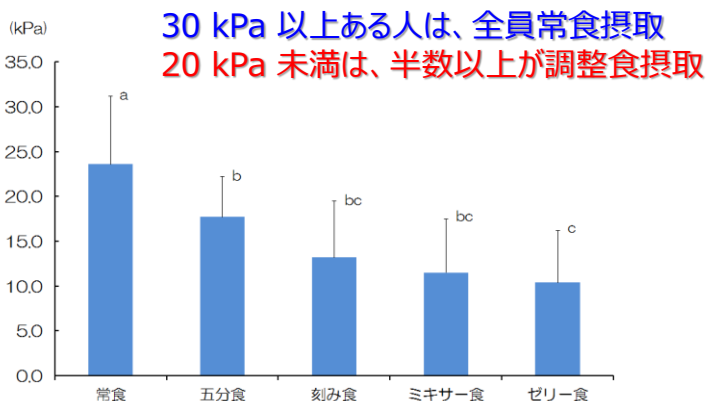
	あり	なし	p
むせ	15.2±7.2 (kPa) (n=28)	28.8±8.3 (kPa) (n=55)	P<0.001
流涎	15.6±7.2 (kPa) (n=24)	22.2±8.6 (kPa) (n=59)	P<0.001
食べこぼし	17.9±8.0 (kPa) (n=47)	23.7±8.5 (kPa) (n=36)	P<0.01
低栄養状態のリスク	17.8±8.5 (kPa) (n=32)	21.9±8.5 (kPa) (n=51)	P<0.05

対象: 特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者83名
低栄養状態のリスク者: 血清アルブミン3.5g/dl以下、過去半年間の体重減少率が5%以上

出典: 施設入所高齢者にみられる低栄養と舌圧との関係(児玉ほか、老年歯学19, 2004)

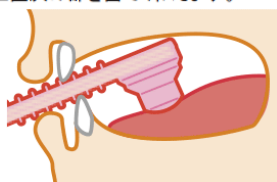
舌圧と食事形態の関係 県立広島大学・栢下教授のグループによる研究

入院または入所中の高齢者201名の調査結果
(男性36名：平均年齢78.4歳、女性165名：平均年齢83.8歳)

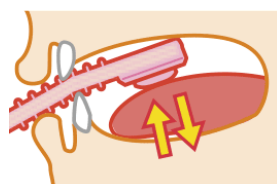


<出典>
田中陽子, 中野優子, 横尾 円, 他: 入院患者および高齢者福祉施設入所者を対象とした食事形態と舌圧, 握力および歩行能力の関連について, 日摂食嚥下リハ会誌, 19(1), 52-62, 2015.

1 ペコばんだのトレーニング部を舌の上に乗せて位置決め部を歯でくわえます。



2 舌でトレーニング部を押し上げます。



筋力強化訓練の場合、最大筋力の85%以上となる強度を選択し、6回以下の負荷で行う。可能であれば、これを1日3回行う。

例) 最大舌圧25kPaであった場合、約21kPa以上の負荷が必要となるため、舌圧換算で20kPa相当、すなわち強度M (グリーン)を選択する。

菊谷 武, 西脇恵子: 「ペコばんだ」を利用した舌のレジスタンス訓練, 日本歯科評論, 73 (9) : 133-136, 2013.